

中央区高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画(令和6年度)の
取組状況と評価(重点事業) 総括表

	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない	個別シート
目標1 健康づくり(介護予防)					
(1)健康づくり(介護予防)の総合的な推進					
中央粋なまちトレーニングの普及		○			
高齢者通いの場支援事業	○				
(2)社会参加と生きがいづくりの推進					
高齢者向けスマートフォン教室等の実施	○				
(3)保健事業と介護予防の一体的実施					
データを活用した個別の健康相談・指導	○				
目標2 生活支援					
(1)包括的な相談機能等の充実					
包括的相談支援体制の構築	○				
(2)安心・見守り体制の拡充					
「地域見守り活動団体(あんしん協力員会)による見守り活動」および「協定締結事業者による見守り活動」の拡充			○		
(3)地域で支え合う仕組みづくり					
生活支援コーディネーターによる取組の充実、地域支えあいづくり協議体・支えあいのまちづくり協議体の活用(住民参加による支え合いの体制づくり)	○				
(4)避難行動要支援者対策の推進					
避難行動要支援者支援体制の整備		○			
「個別避難計画」の作成	○				
目標3 認知症ケア					
(1)認知症に関する普及・啓発の推進					
認知症サポーター養成講座の開催			○		
(2)認知症の相談・支援体制の充実					
認知症サポート電話およびおとしより相談センターにおける相談支援		○			
(3)認知症にやさしい地域づくりの推進					
認知症サポーターおよびキャラバンメイトの活動支援	○				
(4)地域生活を支える権利擁護支援の充実					
成年後見制度の利用支援	○				
目標4 医療					
(2)在宅医療・介護連携の推進					
「医療と介護の関係者の交流の場」の開催	○				
(3)在宅療養支援の普及・啓発					
区民向け在宅療養支援シンポジウムおよび講演会の開催	○				
目標5 介護					
(1)介護サービスの質の向上					
介護給付の適正化	○				
(2)在宅生活を支えるサービスの充実					
介護老人保健施設「リハポート明石」のサービス拡充	○				
(3)介護人材の確保・育成・定着支援					
介護職合同就職相談・面接会			○		
介護人材確保支援事業			○		
地域密着型サービス事業所等介護職員宿舍借上支援事業			○		
(4)家族介護者等への支援					
「介護者教室・交流会」の開催		○			
目標6 住まい					

目標1 健康づくり(介護予防)

(1)健康づくり(介護予防)の総合的な推進

事業名	中央粋なまちトレーニングの普及	所管課	介護保険課																				
事業目的・内容	転倒予防や認知機能の向上などの効果が見込まれる介護予防プログラム「中央粋なまちトレーニング(略称:粋トレ)」の普及により、多くの高齢者が身近な場所で自主的に継続して健康づくりを実施し、その効果を実感できるようにしていきます。																						
令和6年度事業目標(目標値)	実施者の拡大																						
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施団体数</td> <td>41団体</td> <td>41団体</td> <td>45団体</td> </tr> <tr> <td>自宅・敬老館参加者数※</td> <td>96人</td> <td>45人</td> <td>132人</td> </tr> <tr> <td>理学療法士による粋トレ教室参加者数</td> <td>—</td> <td>51人</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>ホームページ(アクセス)閲覧数</td> <td>2,749件</td> <td>1,278件</td> <td>1,234件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R4~R5は自宅参加者のみの数</p> <p>【内容】 実施団体数は令和5年度から4カ所増加となりました。令和6年度は「自宅で粋トレ」について、自宅だけでなくいきいき館で取り組んだものまで範囲を拡大し、「粋トレチャレンジ」として達成者に区オリジナル「粋トレ巾着袋」を景品として配布しました。 令和6年度も「理学療法士による粋トレ教室」を実施し、粋トレの効果を説明し参加者の状況に応じた専門的なアドバイスを行うことで継続した健康づくりにつなげるとともに、実施前後の体力測定により参加者がその効果を実感することができました。 また、元気応援サポーター等を活用して「慰安大会」でのステージ披露のほか、「健康福祉まつり」ではブースで粋トレを体験してもらうなど、粋トレのさらなる普及に努めました。</p>				R4	R5	R6	実施団体数	41団体	41団体	45団体	自宅・敬老館参加者数※	96人	45人	132人	理学療法士による粋トレ教室参加者数	—	51人	58人	ホームページ(アクセス)閲覧数	2,749件	1,278件	1,234件
	R4	R5	R6																				
実施団体数	41団体	41団体	45団体																				
自宅・敬老館参加者数※	96人	45人	132人																				
理学療法士による粋トレ教室参加者数	—	51人	58人																				
ホームページ(アクセス)閲覧数	2,749件	1,278件	1,234件																				
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない																			
評価の理由	実施団体数が増加し、「粋トレチャレンジ」を新たに実施したほか、「理学療法士による粋トレ教室」の継続、「健康福祉まつり」ブースでの粋トレを体験など、粋トレの普及や健康づくりの推進に努めたため。																						
今後の課題	令和4年度の高齢者の生活実態調査で粋トレの認知度が低い(「知っている」と答えた方が13.5%であった)ことから、様々な方法で普及啓発を図るものの、事業の広がりや健康づくりの効果が目に見える形として捉えづらい状況になっています。また、外出を避けたり、高齢者通いの場や高齢者クラブ等の集まりに参加できない高齢者に対する認知度を向上させるため、個人を対象とした普及も引き続き推進していく必要があります。																						
対応策	中央区健康アプリ「ちゅうおうヘルス&ウォーク」との連携により、個人で粋トレに取り組める環境の拡充や認知度の向上を目指すとともに、ボランティアや高齢者通いの場運営者などに、粋トレを改めて周知し、粋トレ実施場所の拡大を図るなど引き続き粋トレの普及啓発と健康づくりを推進していきます。																						
添付資料	中央粋なまちトレーニング冊子 「自宅で粋トレ」チラシ 「粋トレ教室」チラシ 「粋トレチャレンジ」チラシ																						

事業名	高齢者通いの場支援事業	所管課	介護保険課																				
事業目的・内容	「高齢者通いの場」の運営や活動内容の充実に向けた支援を行い、新規開設団体の拡大を目指していきます。また、参加者の介護予防・フレイル予防の促進を図り、交流しながら健康づくり（介護予防）が行えるプログラムの支援・普及を行っていきます。																						
令和6年度事業目標（目標値）	充実																						
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規開設団体数</td> <td>4団体</td> <td>1団体</td> <td>3団体</td> </tr> <tr> <td>団体数</td> <td>18団体</td> <td>18団体</td> <td>21団体</td> </tr> <tr> <td>延べ参加者数</td> <td>5,567人</td> <td>6,724人</td> <td>7,609人</td> </tr> <tr> <td>保健師等の健康講座・相談実施状況※</td> <td>90回/165人</td> <td>95回/50人</td> <td>211回/975人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R4～R5は健康相談のみの実施状況</p> <p>【内容】 新規開設団体は令和5年度実績の1団体を上回り、3団体となり合計で21団体となりました。延参加者数は令和5年度実績より885人増加し7,609人となりました。既存団体については、社会福祉協議会と連携して運営者等の交流会を開催して意見交換を行うとともに、研修会を2回行い、運営に対するスキルアップ及び各団体同士の連携強化を図りました。また、健康講座・相談については、保健師のほか新たに管理栄養士と歯科衛生士も実施し、プログラムの拡充を図りました。</p>				R4	R5	R6	新規開設団体数	4団体	1団体	3団体	団体数	18団体	18団体	21団体	延べ参加者数	5,567人	6,724人	7,609人	保健師等の健康講座・相談実施状況※	90回/165人	95回/50人	211回/975人
	R4	R5	R6																				
新規開設団体数	4団体	1団体	3団体																				
団体数	18団体	18団体	21団体																				
延べ参加者数	5,567人	6,724人	7,609人																				
保健師等の健康講座・相談実施状況※	90回/165人	95回/50人	211回/975人																				
目標達成度（4段階評価）	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない																			
評価の理由	高齢者通いの場の新規開設団体が3団体となり、延参加者数も増加したため。																						
今後の課題	高齢者通いの場の周知を強化するとともに、引き続き、閉じこもりがちな高齢者の参加を促し、高齢者の孤立防止、生きがいづくりにつなげていく必要があります。また、高齢者通いの場の数が順調に増加する一方で、運営者の高齢化等による担い手不足や新規立ち上げの際の会場不足が生じています。																						
対応策	身近な場所で気軽に参加できる高齢者通いの場を増やしていくために、生活支援コーディネーター等との連携や元気応援サポーター育成講座で事業説明を行うなど、高齢者の健康づくりを行う担い手の育成や発掘を行い、新規団体の立ち上げの呼びかけを行っていきます。また、マンション内の集会室の活用、施設改修、民間事業者等の地域貢献事業など、多面的な取組により、参加者の拡大と新たな高齢者通いの場の立ち上げを促進し、高齢者が互いに支えあう地域づくりを推進していきます。また、「データを活用した個別の健康相談・指導」の保健師、管理栄養士、歯科衛生士による通いの場での健康講座・相談とも連携して、支援内容の充実を図っていきます。																						
添付資料	中央区高齢者通いの場マップ																						

(2) 社会参加と生きがいの推進

事業名	高齢者向けスマートフォン教室等の実施	所管課	高齢者福祉課			
事業目的・内容	パソコンやスマートフォンの使い方を学ぶ教室や操作の疑問点を解消する相談会を各いきいき館やシニアセンター等において実施し、高齢者のデジタルデバインド(情報格差)の解消を図っていきます。					
令和6年度事業目標(目標値)	実施					
事業実績 実施内容 取組の成果	【実績】					
		実施主体	講座名	内容	回数(回)	人数(人)
	いきいき桜川		パソコン相談	基本的な操作など	47	148
			スマートフォンちよこつと交流会	参加者同士でスマホの困りごと等を共有	22	149
			LINEちよこつと体験会	LINEの機能紹介	2	14
	いきいき浜町		パソコン教室	基本的な操作など	50	159
			スマホ(LINE)ちよこつと体験会	スマホ(LINE)の機能紹介	24	76
	いきいき勝どき		パソコン・スマホ相談	パソコン・スマホなどの相談	22	54
			かんたんスマホ教室	スマホの機能紹介	18	124
			LINEお試し体験会	LINEの機能紹介	21	78
シニアセンター		パソコンなんでも相談	基本的な操作など	87	—	
		パソコン教室	インターネットやメールの使い方など	64	181	
		初心者向けスマートフォン相談室	基本的な操作など	23	94	
社会福祉協議会		ちよこつと相談会	日常の相談からスマホの相談まで	152	—	
		スマホちよこつと相談会	スマホの相談会	41	100	
		R65月島カフェ	地域主体のサロンによるスマホ教室	16	209	
	【内容】 パソコンやスマートフォンの基本的な操作のほか、「LINE」アプリの使い方や個別相談に対応した教室等を各いきいき館、シニアセンター、社会福祉協議会で開催しました。					
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない		
評価の理由	各いきいき館、シニアセンター、社会福祉協議会において、パソコン・スマートフォン教室等を定期的に開催して、高齢者のデジタルデバインド(情報格差)の解消を促進したため。					
今後の課題	高齢者のレベルに差があるため、講座等の内容を工夫する必要があります。					
対応策	高齢者のレベルに合わせたさまざまな講座等を開催するほか、各いきいき館の職員がスマートフォンの操作方法等について、個別の相談に応じるなどして、デジタルデバインド(情報格差)の解消に取り組んでいきます。					

(3)保健事業と介護予防の一体的実施

事業名	データを活用した個別の健康相談・指導	所管課	介護保険課						
事業目的・内容	<p>高齢者の新たなフレイル対策として、一人一人の特性に合わせた健康支援に取り組むため、医療・健診・介護データから高齢者の健康課題の分析と栄養・口腔・身体的フレイルおよび生活習慣病重症化のリスクが高い方などを抽出し、保健師等が個別訪問などによる健康状態の把握や保健指導を行うほか、必要なサービスにつなげていきます。また、「高齢者通いの場」等、高齢者が集まる場においても、積極的な支援を行うことが効果的であることから、保健師等による健康講座や相談などに取り組んでいきます。</p>								
令和6年度事業目標(目標値)	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導延べ件数 180件 ・通いの場等での健康講座受講者・相談者数 900人 								
事業実績実施内容取組の成果	<p>【実績】 データ活用個別相談</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">R6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">個別指導延べ件数</td> <td style="text-align: center;">223件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">通いの場等での健康講座受講者・相談者数</td> <td style="text-align: center;">1,576人</td> </tr> </table> <p>【内容】 令和6年度は準備期間を経て、「フレーフレーフレイル予防！ 粋なまち健康プロジェクト」として、7月からKDB(国保データベース)の医療・健診・介護データから対象者を毎月抽出し、栄養・口腔・身体フレイル及び生活習慣病重症化のリスクが高い高齢者に、保健師、管理栄養士、歯科衛生士が個別訪問等による健康相談・指導を行い、健康状態の把握、生活習慣の改善を図るとともに必要なサービスにつなげた。なお、健康相談・指導件数は令和6年度目標の180件に対して223件実施し、目標を達成した。 また、フレイル予防の普及啓発を図るため、4月から高齢者通いの場等で保健師、管理栄養士、歯科衛生士による健康講座や相談、健康状態の測定等を行うとともに、介護保険料の通知や本の森ちゅうおうの掲示場所等さまざまな機会や場を捉えて、チラシの配布・ポスター等の掲出を行った。なお、健康講座受講者数及び相談者数は令和6年度目標の900名に対して1,576名に実施し、目標を達成した。</p>				R6	個別指導延べ件数	223件	通いの場等での健康講座受講者・相談者数	1,576人
	R6								
個別指導延べ件数	223件								
通いの場等での健康講座受講者・相談者数	1,576人								
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない					
評価の理由	新規事業であったが、令和6年度の事業目標を達成し、事業を軌道に乗せられたため。								
今後の課題	<p>事業参加の勧奨通知について、「内容がわかりにくい」、「参加が不安」などといった声が寄せられた。また、支援記録をExcelファイルで管理していることから、事業全体の経年変化が追えず、事業評価を行うことが難しくなっている。 フレイル予防の意識向上に向けた普及啓発に取り組むには、現在の取組に加え、対象者や開催場所等を拡大する必要がある。 健診受診者の中のフレイル等のリスクがある方は把握できるものの、医療・健診・介護のサービスにつなげていない高齢者の健康状態が把握できていない。</p>								
対応策	<p>通知の内容が高齢者に明確に伝わり、安心して参加できるよう工夫し、参加者の増加を図る。また、情報システム課と連携して支援管理のデータベースを構築し、支援記録を一元管理するとともに事業評価や事業の見直しを進める。 生活支援コーディネータ等との連携を図るなど、フレイル予防の普及啓発の輪を地域へ拡大させていく。 新たに「健康状態把握事業」を実施し、区の健診を受けていない高齢者で、医療や介護のサービスにつなげていない方を把握し、個別の健康支援につなげていく。</p>								

目標2 生活支援

(1) 包括的な相談機能等の充実

事業名	包括的相談支援体制の構築		所管課	地域福祉課				
事業目的・内容	相談者の年齢や属性等にかかわらず、包括的に相談を受け止めるとともに、複雑化・複合化した課題に対しては、相談支援機関間の連携により支援を行っていきます。ふくしの総合相談窓口の開設により、どこに相談すればよいか分からない課題を抱えた世帯等に対する相談窓口を明確化し、相談支援機関等と連携しながら継続的に支援していきます。							
令和6年度事業目標(目標値)	充実							
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>3810件</td> </tr> </table> <p>【内容】 令和6年4月に開設した「ふくしの総合相談窓口」において、複雑化・複合化した課題等を抱えた方の相談を包括的に受け止めるとともに、アウトリーチによる支援を行いながら、継続的に支援を行いました。 併せて、相談支援包括化推進員の配置を福祉保健部以外の相談支援を行う部署にも拡大し、相談支援機関間の連携を強化しました。 また、支援会議を活用し、単独の相談支援機関では対応が困難な複合的な課題を抱える区民やその世帯への支援を行いました。</p>					R6	相談件数	3810件
	R6							
相談件数	3810件							
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない				
評価の理由	「ふくしの総合相談窓口」の開設や多機関協働事業における会議の開催、相談支援包括化推進員の配置を行ったため。							
今後の課題	「ふくしの総合相談窓口」を含む各相談支援機関、相談支援包括化推進員と地域福祉コーディネーターによる支援を実施していくために、円滑な連携体制を強化し、推進していく必要がある。							
対応策	包括的な支援体制の構築に向け、令和7年7月に月島地域、令和8年度に日本橋地域で「ふくしの総合相談窓口」を開設し、身近な地域で相談を受け止める場を順次整備する。また、相談支援包括化推進員の配置拡大や支援会議等の会議を活用し、庁内や相談支援機関の連携強化を図る。							

(2)安心・見守り体制の拡充

事業名	「地域見守り活動団体(あんしん協力員会)による見守り活動」および「協定締結事業者による見守り活動」の拡充			所管課	高齢者福祉課																				
事業目的・内容	<p>町会・自治会・マンション管理組合などを単位として組織された団体が、一人暮らし高齢者や高齢者のみで構成された世帯を月1回以上訪問し安否確認を行うことにより、事故の未然防止や早期に異変に気づくことができる支援体制づくりを推進していきます。</p> <p>事業者と高齢者の見守り活動に関する協定締結を推進し、おとしより相談センターを中心とする地域見守りネットワークの輪を拡大していくことにより、一人暮らし高齢者などが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにしていきます。</p>																								
令和6年度事業目標(目標値)	地域見守り活動団体数 26団体 協定締結事業者数 33事業者																								
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域見守り活動団体数</td> <td>27団体</td> <td>24団体</td> <td>22団体</td> </tr> <tr> <td>協定締結事業者数</td> <td>26事業者</td> <td>30事業者</td> <td>30事業者</td> </tr> <tr> <td>見守り対象者数</td> <td>798人</td> <td>719人</td> <td>670人</td> </tr> <tr> <td>あんしん協力員数</td> <td>205人</td> <td>186人</td> <td>170人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域見守り活動団体は、2団体が団体の都合(あんしん協力員の高齢化により、活動継続が困難との理由)により活動を終了し22団体になりました。協定締結事業者は、30事業者から増減がありませんでした。 ・地域見守り活動団体募集のチラシを以下のイベント等で配布等し、PRしました。 <ul style="list-style-type: none"> ①高齢者福祉課主催の6月29日ワークショップ ②防災危機管理課主催の1月16日、18日、21日 マンション防災講習会 ③見守り関連事業の説明の要望があった自治会の会合 ・協定締結事業者の連絡会を開催し、活動の参考になるよう意見交換を行いました。 ・地域見守り活動団体の交流会を開催し、意見交換を行いました。 						R4	R5	R6	地域見守り活動団体数	27団体	24団体	22団体	協定締結事業者数	26事業者	30事業者	30事業者	見守り対象者数	798人	719人	670人	あんしん協力員数	205人	186人	170人
	R4	R5	R6																						
地域見守り活動団体数	27団体	24団体	22団体																						
協定締結事業者数	26事業者	30事業者	30事業者																						
見守り対象者数	798人	719人	670人																						
あんしん協力員数	205人	186人	170人																						
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない																					
評価の理由	地域見守り活動団体数、協定締結事業者数ともに目標値に及ばなかったため。																								
今後の課題	町会・自治会・マンション管理組合を単位として組織された団体は、現役を退いたシニア層が中心になりがちであり、担い手を確保してもいずれ同様のことが起こることが予想されるため、継続が難しいと言えます。																								
対応策	引き続き地域見守り活動団体及び協定締結事業者を拡大するためのPRを行う一方、団体の活動以外に高齢者が孤立しない手法を検討していきます。																								
添付資料	地域見守り事業の実施団体一覧 「高齢者の見守り活動に関する協定書」締結事業者一覧																								

(3)地域で支え合う仕組みづくり

事業名	生活支援コーディネーターによる取組の充実、地域支えあいづくり協議体・支えあいのまちづくり協議体の活用(住民参加による支え合いの体制づくり)	所管課	高齢者福祉課																																																																				
事業目的・内容	京橋・日本橋・月島の3つの日常生活圏域ごとの生活支援サービス体制等を充実させ、地域のニーズ・課題を把握します。また、既存の地域資源に対するネットワークを強化させ、地域の特性を活かした資源開発や担い手の育成を行い、必要とされる生活支援・介護予防サービスにつないでいくなど、課題の解決につながる地域体制づくりを充実させていきます。																																																																						
令和6年度事業目標(目標値)	充実																																																																						
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <p>生活支援コーディネーター活動状況 (地域支援件数等) (単位:回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別支援</td> <td>357</td> <td>498</td> <td>538</td> </tr> <tr> <td>地域支援</td> <td>1,366</td> <td>1,529</td> <td>1,055</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域支えあいづくり協議体開催回数 (単位:回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>支えあいのまちづくり協議体開催回数 (単位:回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京橋</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>日本橋</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>月島</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域の担い手養成講座(居場所づくり講座等)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>2(6)回</td> <td>2(6)回</td> <td>4(10)回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>36(69)人</td> <td>26(82)人</td> <td>99(144)人</td> </tr> </tbody> </table> <p>()内は延べ数</p> <p>おとなりカフェ・ちょこっと 相談会開催回数 (単位:回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>136</td> <td>140</td> <td>152</td> </tr> </tbody> </table> <p>ささえあいサポーター養成講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>4回</td> <td>5回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>50人</td> <td>28人</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【内容】 各日常生活圏域(京橋・日本橋・月島)に1名ずつ生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援に関するニーズの把握に努め、地域活動団体の支援や担い手の育成等を行いました。また、第2層協議体「支えあいのまちづくり協議体」を各日常生活圏域で開催したほか、情報交換会を開催して各第2層協議体の活動状況等を共有しました。さらに、第1層協議体「地域支えあいづくり協議体」(区全域)を開催し、地域課題の把握と関係団体の連携強化・情報共有を図りました。</p>				R4	R5	R6	個別支援	357	498	538	地域支援	1,366	1,529	1,055		R4	R5	R6		2	2	2	地域	R4	R5	R6	京橋	4	4	4	日本橋	4	4	4	月島	4	4	4		R4	R5	R6	開催回数	2(6)回	2(6)回	4(10)回	参加者数	36(69)人	26(82)人	99(144)人		R4	R5	R6		136	140	152		R4	R5	R6	開催回数	4回	5回	3回	参加者数	50人	28人	18人
	R4	R5	R6																																																																				
個別支援	357	498	538																																																																				
地域支援	1,366	1,529	1,055																																																																				
	R4	R5	R6																																																																				
	2	2	2																																																																				
地域	R4	R5	R6																																																																				
京橋	4	4	4																																																																				
日本橋	4	4	4																																																																				
月島	4	4	4																																																																				
	R4	R5	R6																																																																				
開催回数	2(6)回	2(6)回	4(10)回																																																																				
参加者数	36(69)人	26(82)人	99(144)人																																																																				
	R4	R5	R6																																																																				
	136	140	152																																																																				
	R4	R5	R6																																																																				
開催回数	4回	5回	3回																																																																				
参加者数	50人	28人	18人																																																																				
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない																																																																			
評価の理由	生活支援コーディネーターが地域支援活動や地域の担い手育成に努めたほか、第1層協議体を2回、第2層協議体を各地域4回ずつ開催し、地域課題の把握と情報共有等を行うことができたため。																																																																						
今後の課題	地域の特性を活かした資源開発や担い手の育成をさらに進め、必要な生活支援・介護予防サービスにつないでいくなど課題の解決につながる地域体制づくりを充実させていく必要があります。																																																																						
対応策	日常生活圏域ごとに配置している生活支援コーディネーターにより、地域課題や既存の地域資源に関する情報・人的ネットワークをさらに強化していきます。また、第1層協議体および第2層協議体を核として地域ごとの課題解決に向けた取組を引き続き行っていくほか、各第2層協議体が情報を共有し、活動に活かしていくよう努めます。																																																																						

(4)避難行動要支援者対策の推進

事業名	避難行動要支援者支援体制の整備		所管課	高齢者福祉課																														
事業目的・内容	災害時に自力で避難したり生活することが困難な方を登録した「災害時地域たすけあい名簿」を作成しています。その名簿を活用した安否確認訓練を防災拠点や町会・自治会において実施するとともに、名簿を活用した体制づくりの取組を希望するマンション管理組合を支援するなど、参考指標を踏まえながら、地域での災害時の支援体制を構築していきます。																																	
令和6年度事業目標(目標値)	<支援体制づくりの取組団体>増加																																	
事業実績実施内容取組の成果	<p>【実績】</p> <p>防災拠点の安否確認訓練実施拠点数、実施状況 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>訓練従事者数</th> <th>安否確認対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>明石小</td> <td>11月2日</td> <td>9</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>日本橋小</td> <td>10月6日</td> <td>15</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>阪本小</td> <td>11月16日</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>月二小</td> <td>11月17日</td> <td>25</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>豊海小</td> <td>11月10日</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>※明石小、月二小は拠点運営訓練実施日の約2週間前から防災区民組織ごとに訓練を実施表の実施日は防災拠点訓練実施日としています。</p> <p>マンション管理組合等の名簿提供数 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>【内容】</p> <p>防災拠点運営訓練の実施に合わせ、安否確認訓練を5拠点で行いました。また、令和5年度に続き、災害時地域たすけあい名簿のマンション管理組合等への提供に向けて6月にワークショップを実施しました。</p>					実施日	訓練従事者数	安否確認対象者	明石小	11月2日	9	17	日本橋小	10月6日	15	16	阪本小	11月16日	8	8	月二小	11月17日	25	26	豊海小	11月10日	13	13	R4	R5	R6	7	11	11
	実施日	訓練従事者数	安否確認対象者																															
明石小	11月2日	9	17																															
日本橋小	10月6日	15	16																															
阪本小	11月16日	8	8																															
月二小	11月17日	25	26																															
豊海小	11月10日	13	13																															
R4	R5	R6																																
7	11	11																																
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない																														
評価の理由	防災拠点での安否確認訓練を5拠点で実施できたが、マンション管理組合への新規名簿提供がなかったため。																																	
今後の課題	区内の22防災拠点のうち、これまで安否確認訓練を行った実績は9拠点のため、今後実施する拠点を順次拡大していく必要があります。また、マンション管理組合等への名簿提供も継続してPRを行っていく必要があります。																																	
対応策	防災危機管理課と連携し、防災拠点運営委員会において災害時地域たすけあい名簿の管理や活用方法の説明及び安否確認訓練の案内等を行い、訓練の実施を促していきます。また、マンション管理組合等を対象に引き続きワークショップや個別の説明を行い、名簿提供による避難体制づくりを支援していきます。																																	

事業名	「個別避難計画」の作成		所管課	高齢者福祉課												
事業目的・内容	<p>「災害時地域たすけあい名簿」に登録されている方が発災時に的確な避難行動を取れるよう、一人一人の状況に合わせた「個別避難計画」の作成を推進していきます。本人または家族等による作成が困難な方で、要介護3～5の認定を受けている方は居宅介護支援事業所に、障害者サービスを利用している方は相談支援事業所に作成を委託することで円滑な計画整備に努め、迅速な避難行動および災害への備えに対する意識啓発を促していきます。</p>															
令和6年度事業目標(目標値)	<個別避難計画作成数>増加															
事業実績実施内容取組の成果	<p>【実績】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>避難行動要支援者数 (災害時地域たすけあい名簿登録者数)</td> <td>8,002人</td> <td>7,758人</td> </tr> <tr> <td>うち外部提供同意者数</td> <td>3,108人</td> <td>2,570人</td> </tr> <tr> <td>個別避難計画作成済者数</td> <td>29人</td> <td>1,381人</td> </tr> </tbody> </table> <p>避難行動要支援者数は、年度当初の抽出時点 個別避難計画作成済者数は、年度末時点</p> <p>【内容】 災害時地域たすけあい名簿の外部提供同意者全員(令和5年度に個別避難計画の作成案内を送付した者を除く。)を対象に、個別避難計画の作成案内及び調査票を送付した結果、約54%の対象者から返信があり、同計画の作成につながった。</p>					R5	R6	避難行動要支援者数 (災害時地域たすけあい名簿登録者数)	8,002人	7,758人	うち外部提供同意者数	3,108人	2,570人	個別避難計画作成済者数	29人	1,381人
	R5	R6														
避難行動要支援者数 (災害時地域たすけあい名簿登録者数)	8,002人	7,758人														
うち外部提供同意者数	3,108人	2,570人														
個別避難計画作成済者数	29人	1,381人														
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない												
評価の理由	個別避難計画作成数は着実に増加しているため。															
今後の課題	作成案内を送付した結果、返信のない人について意向を確認する必要がある。															
対応策	災害時たすけあい名簿の新規の外部提供同意者に作成勧奨を行い、作成を進めます。また、今後、返信がなく作成意向を確認できていない対象者に改めて案内するとともに、外部提供不同意者に対しても作成勧奨を行い、作成者の拡大を図ります。															

目標3 認知症ケア

(1) 認知症に関する普及・啓発の推進

事業名	認知症サポーター養成講座の開催	所管課	介護保険課								
事業目的・内容	認知症の正しい知識の啓発を幅広い年代に対して積極的に行い、地域全体が認知症の方や家族に対してサポートする環境づくりを進めていきます。講座を児童館などで開催し、子どもやその家族を対象に加えるとともにオンラインで実施するなど、対象者を一層広げてサポーターの活躍を促していきます。										
令和6年度事業目標(目標値)	<受講者数>1,500人										
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <p>認知症サポーター養成講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講者数</td> <td>1,336人</td> <td>1,171人</td> <td>969人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【内容】</p> <p>認知症サポーター養成講座は、おとしより相談センターから講師を派遣して実施しました。区内在住・在勤者以外に、子ども向けの講座を児童館等で実施するとともに、令和6年度は小中学校に講座の開催を案内し、小学校3校が実施しました。認知症サポーターがいることが外側から見て分かるよう「認知症サポーターステッカー」を、希望する企業や事業所等に配布しました。また、ステッカーを掲示している企業や事業所等が分かるように一覧を区のホームページに掲載しました。認知症サポーターステップアップ講座及び区民で認知症サポーター養成講座の講師としての資格を持つキャラバン・メイト同士の交流会を実施しました。</p>				R4	R5	R6	受講者数	1,336人	1,171人	969人
	R4	R5	R6								
受講者数	1,336人	1,171人	969人								
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない							
評価の理由	目標値の約6割の達成のため。										
今後の課題	認知症サポーター養成講座について、講座回数増加により講師となるおとしより相談センター職員の負担が増えているため、区民のキャラバン・メイトが主体となった講座の実施が必要です。令和6年度から小中学校へ認知症サポーター養成講座を案内しているが、新しい試みのため実施校は3校であり、さらなる周知により認知症サポーターの養成を進めていく必要があります。										
対応策	認知症サポーター養成講座について、おとしより相談センター職員以外の講師として区民のキャラバン・メイトによる講座の拡大を図るとともに、キャラバン・メイト同士の交流会を行います。令和6年度に小学校で実施した認知症サポーター養成講座の内容や講座開催中の児童の様子を教育委員会や区内小中学校へ周知することにより、認知症サポーター養成講座の開催を促します。また、実施状況を認知症地域支援推進員等と共有し、小中学生が興味を持って主体的に参加できるよう講座の内容を工夫していきます。										

(2) 認知症の相談・支援体制の充実

事業名	認知症サポート電話およびおとしより相談センターにおける相談支援	所管課	介護保険課								
事業目的・内容	匿名でも相談が可能な認知症サポート電話やおとしより相談センターの認知症地域支援推進員等による相談などについて、区のホームページや「区のおしらせ」、認知症に関するチラシ・リーフレット等に掲載するとともに、窓口や講座で案内し、周知を強化していきます。これにより、認知症の不安がある本人やその家族が相談しやすい環境づくりに努め、具体的なアドバイスや訪問などによる支援につなげていきます。										
令和6年度事業目標(目標値)	<相談窓口等の相談件数>3,000件										
事業実績実施内容取組の成果	<p>【実績】</p> <p>相談窓口等の相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>2,858件</td> <td>2,073件</td> <td>2,597件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【内容】</p> <p>実績内訳は、認知症サポート電話189件、おとしより相談センター2,408件でした。認知症地域支援推進員と認知症サポート電話担当者間の情報共有のために連絡会を開催しました。また、9月の認知症月間に合わせて「区のおしらせ」に認知症に関するチラシ・リーフレットや相談窓口等の情報を掲載するとともに、区役所や本の森ちゅうおうにてパネル展示を行いました。</p>				R4	R5	R6	相談件数	2,858件	2,073件	2,597件
	R4	R5	R6								
相談件数	2,858件	2,073件	2,597件								
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない							
評価の理由	目標値には及ばなかったものの約9割の達成のため。										
今後の課題	本人・家族が気軽に地域で相談できるよう、認知症サポート電話や相談機関等の周知方法を工夫する必要があります。										
対応策	誰でも気軽に相談できる窓口があることを高齢者の相談窓口やおとしより相談センターが実施する講座等で、認知症カフェや相談窓口を記載した認知症啓発パンフレットを配布するとともに、区ホームページ掲載、SNS、認知症月間等様々な機会での積極的な周知を行います。認知症地域支援推進員と認知症サポート電話担当者間の連絡会を開催し、引き続き区民の相談にスムーズに対応できるよう相談内容や対応方法の情報共有を行います。										
添付資料	認知症ケアパス「備えて安心！認知症」										

(3) 認知症にやさしい地域づくりの推進

事業名	認知症サポーターおよびキャラバンメイトの活動支援	所管課	介護保険課																				
事業目的・内容	ステップアップ講座等を通じて、認知症に関する基礎知識・理解を深めるとともに、認知症サポーターが地域の見守り活動や認知症カフェ運営などの活動に参画することを促していきます。また、認知症サポーター養成講座の講師役であるキャラバン・メイトの交流会等を通じて活動を支援していきます。																						
令和6年度事業目標(目標値)	<認知症サポーターおよびキャラバン・メイトの講座・交流会開催回数> 7回																						
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ステップアップ講座数</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>キャラバンメイト交流会数</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>認知症サポーター交流会数</td> <td>6回</td> <td>5回</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8回</td> <td>7回</td> <td>7回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【内容】 認知症に関する基礎知識・理解を深めるためにステップアップ講座を実施しました。また、1年間の活動を振り返り、今後の認知症サポーター養成講座の開催や地域の見守り活動を促進するため、認知症サポーター及びキャラバン・メイト同士の交流会を実施しました。</p>			講座名	R4	R5	R6	ステップアップ講座数	1回	1回	1回	キャラバンメイト交流会数	1回	1回	1回	認知症サポーター交流会数	6回	5回	5回	合計	8回	7回	7回
講座名	R4	R5	R6																				
ステップアップ講座数	1回	1回	1回																				
キャラバンメイト交流会数	1回	1回	1回																				
認知症サポーター交流会数	6回	5回	5回																				
合計	8回	7回	7回																				
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない																			
評価の理由	目標値を達成したため。																						
今後の課題	認知症サポーター養成講座について、講座回数の増加により講師となるおとしより相談センター職員の負担が増えているため、区民のキャラバン・メイトが主体となった講座の実施が必要です。																						
対応策	区民のキャラバン・メイトによる講座の拡大を図るため、講座に役立つ知識やグループワークを取り入れる等交流会の内容を工夫していきます。																						

(4) 地域生活を支える権利擁護支援の充実

事業名	成年後見制度の利用支援	所管課	地域福祉課
事業目的・内容	誰もが成年後見制度を安心して利用できるようにするため、本人の意思を最大限尊重した適時適切な制度利用の促進、地域関係者と連携した相談体制の強化、支援方針の検討等への司法・福祉専門職の活用などを行っていきます。複合的な課題を抱えた世帯を包括的に支援するために、相談支援体制の強化を図っていきます。		
令和6年度事業目標(目標値)	<一般相談件数>2,650件		
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】 一般相談件数 3,582件</p> <p>【内容】 本人の意思を尊重した制度利用を促進し、複合的な課題を抱えた世帯を包括的に支援するため、関係機関や専門職等と連携し、チーム支援による相談支援体制を強化しました。また、地域における成年後見制度の担い手を確保するため、港区との合同実施により区民後見人候補者を1名養成するとともに、候補者としての資質向上と後見活動メンバーのフォローアップを目的として、「フォローアップ研修」を2回、「成年後見制度の対象者理解促進研修」を4回実施しました。</p>		
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない ④達成されていない
評価の理由	目標値を達成したため。		
今後の課題	区民後見人の受任ケースが少ないため、引き続き、区民後見人等の受任促進を図るとともに、誰もが安心して成年後見制度を利用できるよう、本人の意思を尊重した適切な支援を行っていく必要があります。		
対応策	複合的な課題を抱えた世帯や対応困難ケースなど、専門的・多角的な視点からの助言が必要なケースについて、本人にとって望ましい支援方針の検討や受任調整を行うための体制を整備し、より本人の意思を尊重した制度利用の促進や相談支援体制の強化に取り組みます。		

目標4 医療

(2)在宅医療・介護連携の推進

事業名	「医療と介護の関係者の交流の場」の開催			所管課	介護保険課												
事業目的・内容	在宅医療を受け持つ医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師とケアマネジャーや介護サービス従事者の交流の場として、多職種連携研修を開催し、顔の見える関係づくりの場を提供していきます。これにより、医療と介護の連携をよりスムーズにして、安心して在宅療養を継続することができるようにしていきます。																
令和6年度事業目標(目標値)	充実																
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <p>医療と介護の関係者の交流の場</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>6回</td> <td>6回</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>116人</td> <td>178人</td> <td>241人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【内容】</p> <p>在宅医療を受け持つ医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師とケアマネジャーや介護サービス従事者の交流の場として、区全域を対象とした在宅療養支援研修を開催しました。また、令和6年4月15日に開設された晴海おとしより相談センターを加えた各おとしより相談センターが中心となり、日常生活圏域を対象とした在宅療養支援研修を開催し、身近な地域で少人数での交流の場を増やすことができました。</p>						R4	R5	R6	開催回数	6回	6回	7回	参加者数	116人	178人	241人
	R4	R5	R6														
開催回数	6回	6回	7回														
参加者数	116人	178人	241人														
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない													
評価の理由	日常生活圏域を対象とした在宅療養支援研修の開催回数を増やし、顔の見える関係づくりを促進できたため。																
今後の課題	医療機関と介護サービス事業者がスムーズに連携し、複数疾患を抱える在宅療養者等に必要なサービスが適時・適切に提供できるよう、在宅療養に関する知識向上やお互いの顔の見える関係づくりをさらに強化していく必要があります。																
対応策	参加者アンケート等を踏まえ、関心の高いテーマや実務に役立つ研修内容を検討し、取り入れることで、医療機関と介護サービス事業者の在宅療養に関する知識を向上させていきます。グループワークの時間を十分に確保し、医療機関と介護サービス事業者の顔の見える関係づくりを促進していきます。また、大人数を収容できる会場では講義が聞き取りやすく、参加者同士が話しやすいように、レイアウトを工夫します。																

(3)在宅療養支援の普及・啓発

事業名	区民向け在宅療養支援シンポジウムおよび講演会の開催	所管課	介護保険課												
事業目的・内容	区民を対象としたシンポジウムや講演会を開催することにより、さらに多くの区民が在宅療養や在宅での看取りなどに関するイメージを持ち、自分のこととして考えてもらえるようにしていきます。														
令和6年度事業目標(目標値)	充実														
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <p>在宅療養支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回 (※)</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>134人</td> <td>90人</td> <td>131人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※在宅療養支援講演会1回、歯科と薬の講演会1回</p> <p>【内容】</p> <p>歯科と薬の講演会を開催し、在宅療養における口腔ケアや薬の管理等の重要性に関する普及啓発を行いました。また、シンポジウムを開催し、在宅療養やACP(人生会議)に関する普及啓発を行いました。</p>				R4	R5	R6	開催回数	2回	2回	2回 (※)	参加者数	134人	90人	131人
	R4	R5	R6												
開催回数	2回	2回	2回 (※)												
参加者数	134人	90人	131人												
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない											
評価の理由	シンポジウムと講演会をそれぞれ1回ずつ開催し、参加者数が増加しているため。														
今後の課題	幅広い世代にアプローチできるよう周知方法を工夫する必要があります。在宅療養を幅広い世代に知ってもらい、自宅で暮らし続けるための医療・介護・生活支援サービス等を自ら選択していく意識を高めてもらえるようにテーマや内容を選定していく必要があります。														
対応策	敬老大会等のイベントでの案内配布や区ホームページ掲載、SNSなどを通じて引き続き積極的な周知を図っていきます。関心の高いテーマを設定するなど内容の充実を図るとともに、自宅で暮らし続けるための医療・介護・生活支援サービス等やACP(人生会議)の重要性を具体的にイメージできるように在宅療養者の事例等の紹介も盛り込んでいきます。														
添付資料	在宅療養支援シンポジウム 開催チラシ 歯科と薬の講演会 開催チラシ														

目標5 介護

(1)介護サービスの質の向上

事業名	介護給付の適正化			所管課	介護保険課						
事業目的・内容	専門員によるケアプラン点検の実施結果について、事業者連絡会や事業者支援関連システム(ケア倶楽部)で周知・共有し、第6期中央区介護給付適正化計画に基づく適正化事業に積極的に取り組んでいきます。受給者が真に必要とする過不足のないサービスを事業者が適切に提供するよう促し、適切なサービスの確保を図ることにより、資源や費用の効率化につなげていきます。										
令和6年度事業目標(目標値)	<ケアプラン点検実施件数>20件										
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <p>ケアプラン点検実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7件</td> <td>18件</td> <td>51件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【内容】 国のケアプラン点検支援ツールを活用して、項目ごとの数値による評価をもとにした分析結果から助言内容を検討することで点検の効率化を図った</p>					R4	R5	R6	7件	18件	51件
R4	R5	R6									
7件	18件	51件									
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない							
評価の理由	目標値を達成したため。										
今後の課題	適切な給付を継続して行うためには、介護支援専門員が定期的にケアプランの振り返りを行うことが望ましいです。										
対応策	できるだけ多くの介護支援専門員のケアプランを点検し、短いサイクルでケアプラン点検が受けられるようにすることで、作成したケアプランを定期的に振り返る機会を創出していきます。										

(2)在宅生活を支えるサービスの充実

事業名	介護老人保健施設「リハポート明石」のサービス拡充	所管課	高齢者福祉課																
事業目的・内容	利用者の在宅復帰率の向上や介護者の負担軽減を図るため、6カ月としている入所期間を最大12カ月まで延長するとともに、利用対象者の拡大を図っていきます。																		
令和6年度事業目標(目標値)	入所率75%																		
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員</td> <td>80人</td> <td>80人</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>入所数</td> <td>57人</td> <td>67人</td> <td>76人</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>68.8%</td> <td>74.4%</td> <td>92.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※入所数は各年度の3月31日現在の人数 ※利用率は各年度の平均利用率</p> <p>【内容】 (1) 入所期間の変更 以下のいずれかの条件に該当する場合には入所期間を最大12カ月以内に変更しました。 ①入所期間内に在宅復帰の見込がある者のうち、6カ月以上リハビリを実施する必要があると認められたとき。 ②在宅介護生活が困難かつ6カ月以内に受入先の施設等への円滑な入所が困難なとき。 ③区と施設が協議した結果、前2号の事由以外に入所期間の延長が必要と認められるとき。 (2) 利用対象者の変更 施設に空床が生じている場合は、以下の条件により区外在住の高齢者等も受け入れ可としました。 ①要介護認定を受けており、区内に二親等以内の家族が在住している高齢者等。 ②受け入れ人数は8名を上限とし、多床室のみの受け入れとする。</p>				R4	R5	R6	定員	80人	80人	80人	入所数	57人	67人	76人	利用率	68.8%	74.4%	92.3%
	R4	R5	R6																
定員	80人	80人	80人																
入所数	57人	67人	76人																
利用率	68.8%	74.4%	92.3%																
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない															
評価の理由	目標値を達成したため。																		
今後の課題	目標値は達成しましたが、今後も引き続き目標値を維持するために、より効果的な周知方法を模索していく必要があります。																		
対応策	かかりつけ医やケアマネジャー等を対象に、啓発パンフレットと併せて施設の料金表や申込書を配付するなど周知活動に注力して入所率を維持していきます。																		

(3)介護人材の確保・育成・定着支援

事業名	区独自の「介護事業所の雇用・育成支援」の実施		所管課	介護保険課
事業目的・内容	区内介護事業所における介護職員不足に対応するため、介護職員初任者研修の受講に加え、介護事業所に就職するまでをあっせんする介護人材確保支援事業を実施するほか、合同就職相談・面接会の開催や地域密着型サービス事業所等介護職員宿舎借上支援事業などにより、新たな介護職員の雇用の創出・定着につなげていきます。			
令和6年度事業目標(目標値)	<雇用人数>30人			
事業実績 実施内容 取組の成果	【実績】			
		R4	R5	R6
	雇用人数	25人	22人	20人
	参加者数	41人	38人	39人
	介護人材確保支援事業	19人	19人	19人
	合同就職相談・面接会	22人	19人	20人
	参加事業者数	56事業者	60事業者	75事業者
	介護人材確保支援事業	45事業者	46事業者	61事業者
	合同就職相談・面接会	11事業者	14事業者	14事業者
	宿舎借上げ数	3戸	3戸	2戸
	【内容】			
	①介護人材確保支援事業・・・介護職員初任者研修の受講に加えて、介護事業所に就職するまでを斡旋し、13人の就職につなげることができました。			
	②合同就職相談・面接会・・・区内介護事業所の企業PRと就職相談および採用面接を行う相談・面接会を実施し、2人の就職につなげることができました。			
	③宿舎借上支援事業・・・区内介護事業所が介護職員等のために借り上げた社宅利用型借上住宅に係る費用助成では1戸3人、令和6年度から新たに開始した民間賃貸住宅に係る費用助成では1戸2人の介護職員の確保・定着につながりました。			
目標達成度(4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない
評価の理由	介護職員の雇用にはつながっているが、目標値を達成できなかったため。			
今後の課題	①②HPやポスター・チラシによる周知だけでなくSNSを活用するなど介護職合同就職相談・面接会および介護人材確保支援事業の広報活動に力を入れているが、参加数が伸び悩んでいます。 ③対象サービス事業所に個別に連絡するなど助成制度の周知を行っているが、地域密着型サービス事業所等介護職員等宿舎借上支援事業の利用増につながっていません。			
対応策	①②介護職合同就職相談・面接会では、引き続きSNS等のツールを使った広報活動に力を入れていくとともに、介護の仕事に興味がある人の相談機能を充実させるなど参加者の拡大を図っていきます。介護人材確保支援事業では、事業参加者と区内事業所への就職者を増やすため、周知活動を定期的に行いながら、就職後の継続的な雇用支援により介護職員不足の解消に取り組んでいきます。 ③利用につなげるため、利用に伴う事業所の課題を共有し、必要に応じて事業所をサポートしていくとともに、外国人介護職員等の利用に限り、助成利用上限戸数を拡大することで、事業所の多様な人材の確保を支援していきます。			
添付資料	中央区介護人材確保支援事業 案内チラシ 中央区介護職合同就職相談・面接会 開催チラシ			

(4) 家族介護者等への支援

事業名	「介護者教室・交流会」の開催		所管課	高齢者福祉課												
事業目的・内容	家族等介護者を対象に、介護の知識や技術に関する教室を開催します。また、介護に関する悩みの共有や情報交換の場として実施する介護者交流会について、コロナ禍で休止していましたが再開します。															
令和6年度事業目標（目標値）	開催															
事業実績 実施内容 取組の成果	<p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>6回</td> <td>6回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>37人</td> <td>44人</td> <td>51人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【内容】</p> <p>①認知症の理解と対応～認知症の理解とストレスマネジメント～ ②知っておきたい腰痛予防のコツ～体の負担が軽くなる正しい介助方法～ ③褥瘡(床ずれ)の理解と予防対策～自宅でできる褥瘡(床ずれ)予防～ ④危険予知トレーニング～安心して自宅で暮らすために～ ⑤口腔ケアと栄養ケア～食べることの楽しみを続けるために～ ⑥自宅でできる低栄養予防～簡単に栄養プラスする介護食品について～</p> <p>マイホーム新川、マイホームはるみ各3回実施 教室1時間程度、交流会30分程度</p>					R4	R5	R6	開催回数	6回	6回	6回	参加者数	37人	44人	51人
	R4	R5	R6													
開催回数	6回	6回	6回													
参加者数	37人	44人	51人													
目標達成度 (4段階評価)	①達成された	②ほぼ達成された	③あまり達成されていない	④達成されていない												
評価の理由	目標値を達成したため。															
今後の課題	参加者数が定員に達しないこともあるため、内容及び周知方法を改善する必要があります。															
対応策	引き続き現地開催とオンライン配信を併用し、より多くの介護者等に参加していただけるよう区SNS等を用いて幅広い周知に努めます。 アンケート結果の把握・分析をするとともに、これまで施設職員が実施していた内容について、外部講師を招聘した教室を開催するなど、参加者数増に向けて工夫していきます。															